

1 9/27 (土) 2 10/18 (土)

# ワークショップ

※両日参加、いずれかの参加でもOKです。

① 9/27 (土)  
喫茶さざなみハウス

10:00~12:00 (参加無料 / 先着順10名程度)  
詩集「いのちの芽」(大江満雄編)の愛生園に縁のある作品から、気になる「一行・一句」をその日の気分で見つけて、聞いたり書いたり話したりする時間です。  
スミカオリ (ファシリテーション)、江南泰佐 (音声メディアとして収録編集)

② 10/18 (土)  
奉還町4丁目ラウンジ・カド

10:00~12:00 (参加無料 / 先着順10名程度)  
岡山市ルネスホール1階ギャラリー ※駐車場はありません。 / 共催:ルネスホール

11/22 (土) - 11/24 (月)

# 展示 1

※展示1 会期中イベント: 11/24 (月) 13:00~14:00 (参加無料)  
岩本象一: 朗読と音のパフォーマンス 鶴見俊輔、住宅顕信、永瀬清子が最晩年に紡いだ言葉に音を添えて。

12/20 (土)

# 講演会&トーク

長島愛生園むつみ交流館 大会議室

14:00~16:00 (参加無料 / 先着順)  
「詩集『いのちの芽』とその周辺」  
『いのちの芽』の詩人と、大江満雄、鶴見俊輔、永瀬清子らとの交流  
ワークショップで紡いだことばをテキストと音声のミクストメディアとして展示。  
講演会&参加アーティストを交えたトーク: 内なる声を集めること、小さな声が届くこと  
ゲストスピーカー/木村哲也氏 (国立ハンセン病資料館学芸員)  
トーク参加者 木村哲也氏、田村朋久学芸員、スミカオリ、江南泰佐、岩本象一、OOWETS  
環境音楽BGM (OOWETS) ワークショップで制作した音声の紹介も行う。

12/20 (土) - 12/28 (日)

# 展示 2

長島愛生園むつみ交流館 小会議室

10:00~16:00 (参加無料) スミカオリ (ワークショップ参加者作品)  
江南泰佐 (ミクストメディア) & OOWETS (サウンドアート)

ワークショップ・講演会  
お申し込みはこちら→

# 内なる声 遠い声



まちのすきまカフェ2025

日常の「すきま」が開く未来。  
アートとして再定義されるまちに、  
内なる声と遠い声が響きあう。



↑詳細情報はこちら↑

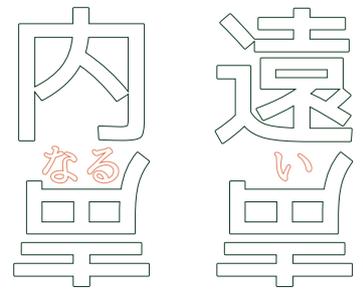
詩集  
いのちの芽

大江満雄編



岩波文庫

1953年、大江満雄（1906-91）は、全国8つのハンセン病療養所の入所者73名の詩227篇からなる合同詩集を編んだ。詩人たちは、自らの境遇を「宿命」とするのではなく、生命の肯定、人間への愛惜、差別への抗議を、力強くうたった。戦後詩の記念碑、文庫として輝きを放つ。（解説=大江満雄・木村哲也）



日常生活において、その存在を忘れかけている「すきま」にスポットを当てることで、物理的空間にとどまらず潜在化している機能や視点、記憶などを掘り起こし、まちにおける存在意義やまちそのものを再定義する「まちのすきまカフェ」。詩のワークショップを2か所で行い、参加者と紡いだ「声」をリレーショナルアートとして展示する。最終的に講演とトークを行い、「内なる声、遠い声」と同時代を共に生きている響きを検証し、後日アーカイブの配信をする。

講演会ゲストスピーカー

木村哲也

1971年生まれ。国立ハンセン病資料館学芸員。  
2023年、企画展「ハンセン病文学の新生面—『いのちの芽』の詩人たち」担当。著書に『来者の群像—大江満雄とハンセン病療養所の詩人たち』、編著に『内にある声と遠い声—鶴見俊輔ハンセン病論集』など。大江満雄編『詩集いのちの芽』岩波文庫の解説を執筆。



参加アーティスト

スミカオリ

ヨノナカ実習室 実習助手・さざなみハウス 書生・日本捏造協会 会員

岡山生まれ、岡山育ち。学校教育に20年携わった後、独立。ヨノナカ実習室では、調理実習や木工実習のように、対話や表現の実習活動や、ヨノナカへのいっちょよかみに挑戦する。無責任編集雑誌の会・不器用な人のための編み物の会・100時間デ名著・作文応援団などの活動を継続中。牛窓話茶会や小さい劇作家フェスなどのお手伝いも頑張っている。



江南泰佐 Enami Taisuke

Meister Musik 快音採取 / 大所帯非楽器アンサンブル POLY! / 大阪音楽大学特任准教授

現在岡山県勝山在住。音楽家・音声メディアアーティスト  
音、声、音楽から派生するいくつかのことに取り組みながら国内外で活動中。アウトプットはその都度、楽器演奏、作曲、非楽器演奏、サウンドデザイン、サウンドインスタレーション、ラジオコンテンツ制作などカタチを変える。  
近年は都市部以外にも山村や瀬戸内海の島々を拠点に活動を展開。地域の住民を巻き込む形でコミュニティにおける音を介した新しいコミュニケーションの可能性を模索中。  
音源：<https://soundcloud.com/enamitaisuke>  
快音採取blog <http://otodamaradio.blog16.fc2.com>



OOWETS (オーウェッツ)

(木・石・水)などの自然物と楽器(シンセ・ピアノ・ギター・サンプラー・カセットテープ)などを組み合わせて、Lo hiphop、アンビエント、環境音楽、エレクトロニカなどの生活に馴染む音楽やアート・映像制作をしています。近年ではファッションブランド zAMBUSHz のSS2022の3Dエキシビジョン音楽を 担当、Kamoiマスキングテープ新作映像・音楽、チョコレート工場 zSUNNYSIDE FIELDSz 店内音楽、物流用自動走行ロボットのサウンドデザインなど  
札幌国際芸術祭2014「都市と自然のサウンドコンペディション」グランプリ受賞。  
2018年 WasaburouWatanabe「Cycling」発売  
2020年「Life&Space」発売  
2021年「Daydream」を配信  
2022年「Good morning Good night」配信  
2022年「Good morning Good night」  
2023年「Star Wave」  
2024年「Calm Food」「Fantastic」発売



岩本象一 Iwamoto Syoichi

音楽家。2005年-2008年 インドネシア国立芸術大学に留学しガムランを学ぶ。Okayama Javanese Gamelan Class主宰。  
国内外でパフォーマンスやワークショップを行う一方、映像の作品も発表するなど活動は多岐にわたる。

